## 今日は「にしの日」です

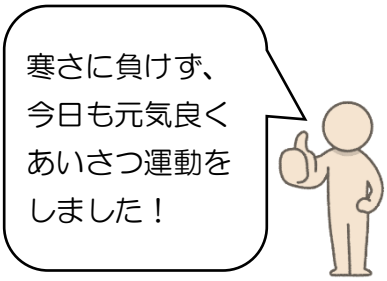
朝晩、寒い日が続きます。朝、目が覚めると室内は冷え切っており、布団から出るのが辛くなり、「あと少し布団の中にいたい」と思うようになってきました。

そのような季節となりましたが、今日は**24日**、「**にしの日**」です。今朝は**PTA地域委員会の方**と**生徒会執行部**であいさつ運動が行われました。地域委員会の方々は早くから来校され、寒い中、一足先にあいさつ運動をしていただきました。生徒会執行部の皆さんも８時から元気良くあいさつ運動をしました。今日も気持ちの良いあいさつで一日が始まりました。

朝の校門でのあいさつ運動を見ていて気づくことですが、あいさつをする時に、**ポケットからきちんと手を出してあいさつをする**生徒が多いことです。校門を通る生徒は、「ポケットに手を入れたまま通りたい」、というのが本音だと思います。しかし、生徒会執行部や先生方にあいさつを返すために、きちんと手を出してあいさつをしています。これは、簡単なようで、ちょっとした気配りがいることです。この気配りをすることができる生徒が多いことを嬉しく思います。お互いに気持ちの良いあいさつをこれからも心掛けたいものです。

「にしの日」という機会ですので、「**あいさつ**」について調べてみました。以下にあいさつについて調べたことを紹介いたします。

**☆ 挨拶の語源は･･･？**

あいさつは漢字で書くと「**挨拶**」となります。もともと禅語と言われる「**一挨一拶**」という言葉から派生したものだそうです。この「一挨一拶」というのは、相手に言葉を投げかけ、その反応で相手がどの程度の悟りの深さであるのか調べるという意味で使われていました。

そこから、「挨拶」という言葉が生まれたようです。「挨拶」の意味ですが、挨(あい)は「**押す**」、拶(さつ)は「**迫る**」。漢字の意味合いだけだと「**押し迫る**」という意味になります。これを要約すると「**自分の心を開いて、相手の心に近づいていく。すなわち、挨拶する側は心を開き、された側も心を開く。お互いが心を開いて近づいていき、人間関係を築いていく第一歩にしていく**」という意味になるかと思われます。